

2018年1月31日

関係各位

会社名 株式会社 S H I F T
 代表者名 代表取締役社長 丹下 大
 (コード番号:3697 東証マザーズ)
 問合せ先 IR・広報室 山路 亜紀
 (TEL. 03-6809-2994)

SHIFT、RPA テクノロジーズと業務提携 【RPA×品質保証】

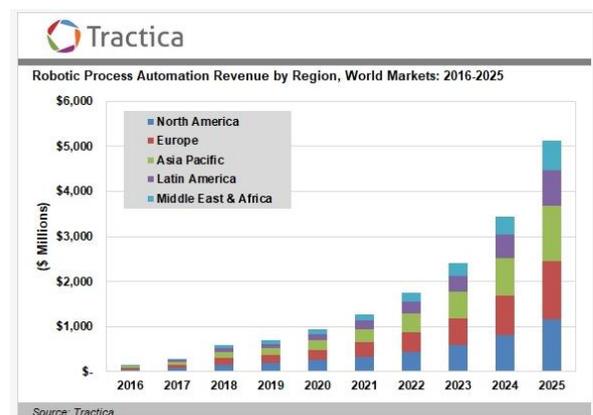
RPA ロボット品質保証サービスの共同開発を開始

ソフトウェアの品質保証・テストを手掛ける株式会社 SHIFT（本社：東京都港区、代表取締役社長：丹下 大、以下 SHIFT）は、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）のベーステクノロジーを提供する RPA テクノロジーズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：大角 暢之、以下 RPA テクノロジーズ）と、人の単純作業を代行する仮想的労働者（以下 Digital Labor）の実現とその普及・促進に向けて、2018年1月31日より業務提携を開始することを決定しましたので、お知らせいたします。

1. 協業の背景、目的

2060年には、国民の約2.5人に1人が65歳以上の高齢者(※1)になると言われる、世界でも類を見ない超高齢社会を控えている日本は、限られたマンパワーを有効かつ最大限に活用すべく、働き方改革などによる未就業者の就業支援や労働の効率化、また外国人労働者の受け入れを進めてまいりました。一方で、少子高齢化社会の進行や徐々に深刻化する働き手不足は未だ補完できない大きな課題として政府、各企業が打開策に取り組んでいるのが現状です。

そういった社会背景の中、さまざまなビジネスシーンでの省力化を目指した AI や、機械学習といった技術を用いて業務の代行を実現する RPA が世界中で急速に普及し、日々多くのメディアでその名を目にするようになりました。米国の調査会社トラクティカ(Tractica)の 2017年7月24日の発表によると RPA の世界市場の成長は2016年の1.5 米億ドルから、2025年には51 米億ドルへ加速的に拡大すると予測されています(※2)。RPA の導入により、企業内に Digital Labor という労働力が生まれ、これまで人が実施していた事務処理などの限りなく単純作業化出来る業務は、ロボットによる代行が可能になります。



世界の地域別 RPA 市場拡大予測 (トラクティカより)

しかしながら、まだ普及に向けた動きが始まったばかりの RPA・Digital Labor は、その有効な導入・活用方法が確立しておらず、導入しても「現在の業務に思うように適用できない」「エラー

が多く、リカバリオペレーションで、人手がかかってしまう」「ロボットを現場に配布しても使われない」など、Digital Labor との分業および、Digital Labor の品質が原因で社内普及が上手く進まないケースも多く見られます。このような状況を受け、SHIFT は、RPA テクノロジーズと互いの強みを活かし、多くの導入企業が抱える RPA 活用における課題を解決し、より加速的な RPA の普及に貢献できると判断し、この度の業務提携を決定いたしました。

RPA テクノロジーズは、2013 年の設立以前より約 10 年に渡り、人の作業を転換するロボットビジネスを展開し、これまでに金融、流通・小売、情報通信など幅広い業界へ 20,000 体以上のソフトウェアロボットの導入事例を持つ RPA のリーディングカンパニーです。国内外の RPA ツールの取り扱い、エンジニアリングの実績を持ち、顧客に対して客観的かつ最適な RPA 推進を実現しています。

SHIFT は、業務プロセスを細分化・可視化して「判断が必要なプロセス」、「作業化されたプロセス」、「自動化できるプロセス」の 3 つに切り分け、品質を担保しながら大幅なリードタイム短縮を実現するノウハウをコア・コンピタンスとしてソフトウェアの品質保証に適用し、事業を創ってきました。さらに、金融・流通業を中心としたさまざまな領域において、例外系・異常処理等を含む網羅的な業務パターンの展開手法を確立しており、このノウハウが RPA を活用した業務の最適化には有用であると考えています。

両社は本提携を通じて、RPA のスムーズな導入と活用効果の最大化の実現を目指してまいります。RPA 導入により削減したマンパワーは、より創造性を必要とする分野に費やすことができ、また企業の働き方改善の推進にも貢献するものと考えています。

企業の生産性と価値の向上に繋げるによりさらなる市場の拡大と、国内外で日々深刻化する有効労働人口の減少や、人手不足に、大きな一石となることを目指してまいります。

2. 具体的な取り組み

本提携では、SHIFT はこうした業務プロセス改革による分業化・スキル可視化などのコンサルティング技術・ノウハウおよび、RPA の業務への適用に向けた品質保証ノウハウを提供し、RPA テクノロジーズは 10 年間で培ったトラブルシュートに関する知見、および対象業務やクリティカリティに応じた開発方法論、ツールの選定ノウハウの提供、および BizRobo! パートナーネットワークを活用して、人の業務を代行する Digital Labor を広く供給し、企業の生産性向上や日本企業の「働き方革命」の促進に寄与する Digital Labor の効果的な普及、拡大を目指してまいります。

両社は、3 月のサービス提供開始を目指して、適切に RPA を活用できる診断、診断結果に基づく改修支援、改修された RPA ロボットに関する長期的なテクニカルサポートを視野に入れたサービスの共同開発を進めてまいります。

※1 (出典) 2010 年までは国勢調査、2013 年は人口推計 12 月 1 日確定値、2015 年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 (平成 24 年 1 月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h26/html/nc141210.html>

※2 (出典) Robotic Process Automation Market to Reach \$5.1 Billion by 2025
<https://www.tractica.com/newsroom/press-releases/robotic-process-automation-market-to-reach-5-1-billion-by-2025/>

3. 業務提携の相手先概要

【RPA テクノロジーズ株式会社について】

名 称	RPA テクノロジーズ株式会社	代 表	代表取締役社長 大角 暢之
住 所	東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 13F		
事 業 内 容	コンピュータ、その周辺機器およびそのソフトウェアの開発、設計、製造、販売ならびに輸出入業務/情報処理サービス業および、コンサルタント業務/情報提供サービス業/マーケティングリサーチおよび各種情報の収集分析		

4. 日程 業務提携契約締結日 2018年1月31日

5. 今後の見通し 本件が当社の業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。

以 上

(参考) SHIFT 当期連結業績予想 (2018年1月12日公表分) 及び前期連結実績 (百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (2018年8月期)	12,500	900	900	600
前期連結実績 (2017年8月期)	8,174	391	440	208

■本件に関するお問合せ
株式会社 SHIFT IR・広報室

TEL : 03-6809-2994

Email : pr_info@shiftinc.jp